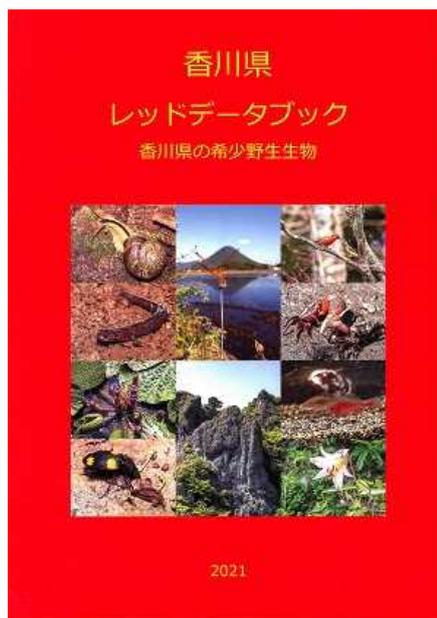


香川県レッドデータブック 2021 香川県の希少野生生物



(あいさつより)

香川県は、白砂青松の海岸と多島美を誇る瀬戸内海、緑豊かな讃岐山脈、多くのため池が点在する讃岐平野など、変化に富んだ豊かな自然環境に恵まれ、これまで多様な野生の動物や植物が育まれてきました。

しかし、開発の進展や外来種の侵入等により生息環境が悪化し、身近に見られた野生生物が絶滅の危機に直面してきたことから、香川県では、平成 16 年 3 月に、初めて、野生生物の実態を取りまとめた「香川県レッドデータブック」を作成し、環境アセスメント審査や野生生物保護対策の基礎資料として活用するとともに、「香川県希少野生生物の保護に関する条例」を制定するなど生物多様性保全の取組みを進めてまいりました。

こうした取組みにより、地域での希少野生生物保護の取組みが始まる一方で、新たな外来種の侵入や温暖化などにより、絶滅が危惧される野生生物の増加が懸念されたことから、平成 27 年度よりあらためて調査を実施してきたところであり、この度、その結果を基に、「香川県レッドデータブック」を改訂しました。

今回の改訂では、掲載種が 798 種から 1,032 種に大きく増加するとともに、ミズスマシやアキアカネのような身近な種も減少が危惧されるなど、深刻な現状が続いています。

本書の発刊により、広く県民の皆様が野生生物や自然環境への理解を深めていただくとともに、各種事業者が行う生物多様性の保全のための資料として活用され、自然環境保全への取組みが、一層進むことを願っています。

(令和 3 年 3 月、香川県 (みどり保全課))

(7101294580)